
恋のキューピッド君

わたるくん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋のキューピッド君

【Nコード】

N5716Z

【作者名】

わたるくん

【あらすじ】

高校に入学してから三か月が経った。クラスでの俺の立場と云ったら、教室でゲームをしたり、ラノベを読んだりしているキモいヲタク君。

そんな俺こと、上木幸司に舞い込んできたのは、ヲタクという不本意なレツテルを張りやがった女の子の恋愛のお助け！？
なんで、そんな嫌いなヤツを助けなくちゃならないんだ！俺は断固拒否するぞ！

絶対、絶対だからな！！

……とか言いつつ、結局巻き込まれる男のお話。

高校生活ってツライよね？（前書き）

他に投稿してある小説と違って一人称に挑戦してみました。
やっぱり恋愛が絡んでくると一人称の方が表現がしやすかったり（
笑）

高校生活ってツライよね？

「なあ、上木のヤツまた教室でゲームやってるぜ？ 友達が一人もいないからって寂しいヤツだよな」

「仕方ないんじゃないか？ あまり人と話さないタイプみたいだし、見た目もダサいじゃん。女子にもキモがられてるみたいだし、あんなヤツと仲良くしたら、俺たちまで同類に思われるって」

ハアア……また俺のことを貶す声けなが聞こえてくる。入学してからもう何ヶ月か経ってるのに、アイツ等もよく飽きないな。そんな教室の扉の前で話なんてしないで、言いたいことがあるなら、面と向かって言えってんだ。

「でもよ、上木も災難だよな。香澄かすみにまで目を付けられて、クラスの女子全員からヲタクって呼ばれて嫌われてるんだぜ？ 俺なら耐えられないね」

うるせえ、口だけの同情なんていらねえんだよ。香澄にイビられてないお前等なんか、俺の気持ちなんて分からないだろうさ。

もう、なんていうかね？ 教室の隅で女子グループが集まってヒソヒソ話しているだけで、俺の悪口言われているような気分になるんだよ。その時は、わざと寝たふりなんかしてるが、耳だけは俺の意思に反して、無意識に女子たちの会話を盗み聞きしようとするんだ。

……結局、聞こえないんだけどな。

「それに……っ!？」

「おい、どうしたんだよ……っ!？」

おっと二人が黙り込んだぞ。これはアレだな。アイツのご登場ってわけか？

「ちよつと、アンタ等。教室のドアの前に立たないでくれる？ ちよー邪魔なんですけど?？」

ソプラノボイスの奏でる澄んだ声と共に、女の子が一人教室に入

ってくる。

長いウェーブがかつた髪は茶色に染められており、校則って何だっけ？　と思わせるほどの、足を露出させた短いスカート。おそらく特殊な趣味でもないかぎり、ほとんどの男が可愛いと言っだろう。正直、見た目だけなら雑誌でモデルやってますと言われても信じてしまっくらいだ。

そう、彼女が俺の天敵、かすみれんか香澄恋歌だ。

クラスでは、その持ち前の容姿と明るさで人気があるようだが、俺からみたら嫌な女もいいところだ。

すべてとは言わないが、香澄のせいで俺がクラスからハブられたのは間違いないと思っっている。

昼休みに一人でゲームやってたくらいで『上木はヲタクだからキモイ』なんて噂流しやがっつて。何故それくらいでキモイという烙印まで押されなければならぬのか……俺にはまったく理解ができません。最近では、ラノベとかゲームが好きというくらいでヲタク扱いされるんだから、嫌な世の中になったもんだぜ。

昔のことを思い出してたら、さっきの男二人組が黙って道を譲ったな。アイツ等もクラスじゃあそれほど目立つ立場じゃないからな。香澄から見れば、好まないタイプなんだろうさ。クソツ……本当にム力つくヤツだぜ。

そんなお互いを嫌ってた関係だったのに、なんだっつてあんなことになっってしまったのだろう……。

入学して三ヶ月の時点で、すでに来年のクラス替えを夢見ていたのに。

あんな横暴ギャルに振り回れる高校生活を送るハメになるなんて……誰が想像できただろうか。

すべては始まりは、学校から変人と揶揄やゆされている、あの先輩から始まったことだった。

高校生活ってツライよね？(後書き)

まだまだ序章もいいところなので、最後までお付き合いしていただけたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5716z/>

恋のキューピッド君

2011年12月19日01時51分発行